

報道機関各位

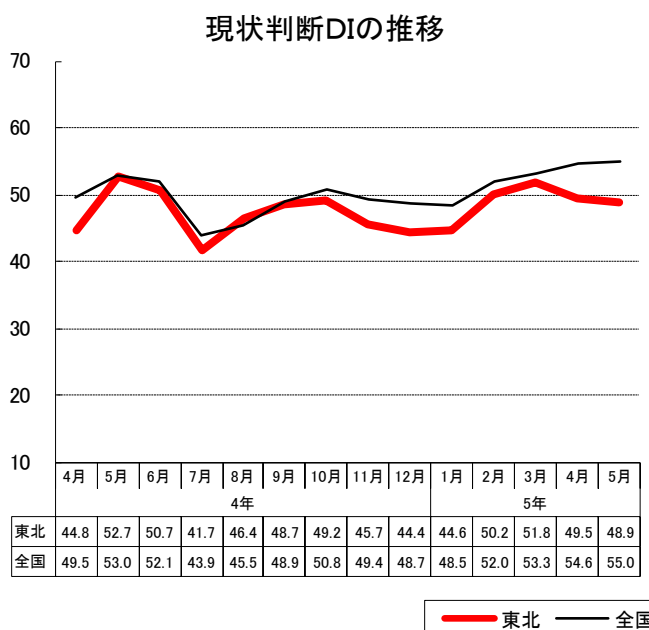
公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年5月 東北分  
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年5月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

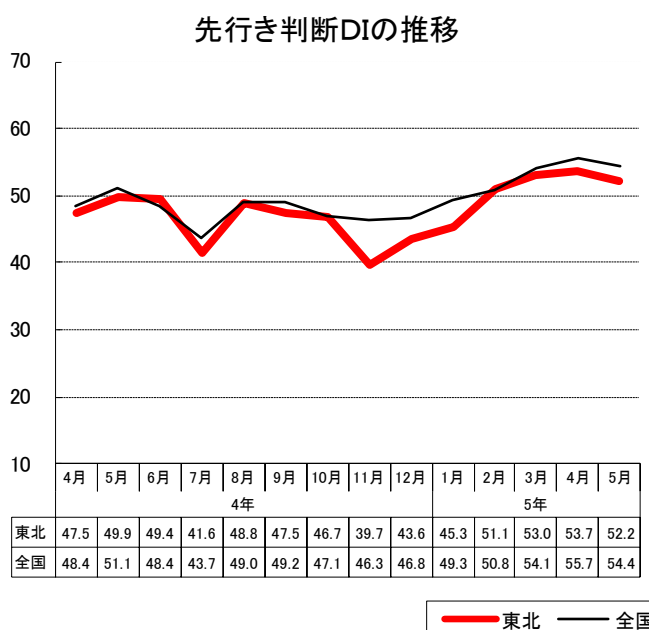
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「48.9」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.6ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

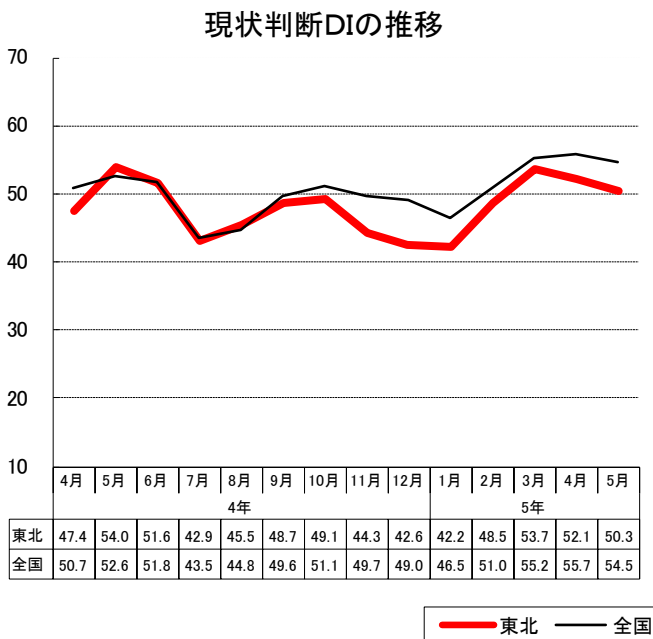
先行き判断DIは「52.2」と6か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.5ポイント低下した。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「50.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.8ポイント低下した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、通信会社、一般小売店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般レストラン、衣料品専門店、百貨店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「48.4」（▲3.4）と、2か月連続で前月を下回った。

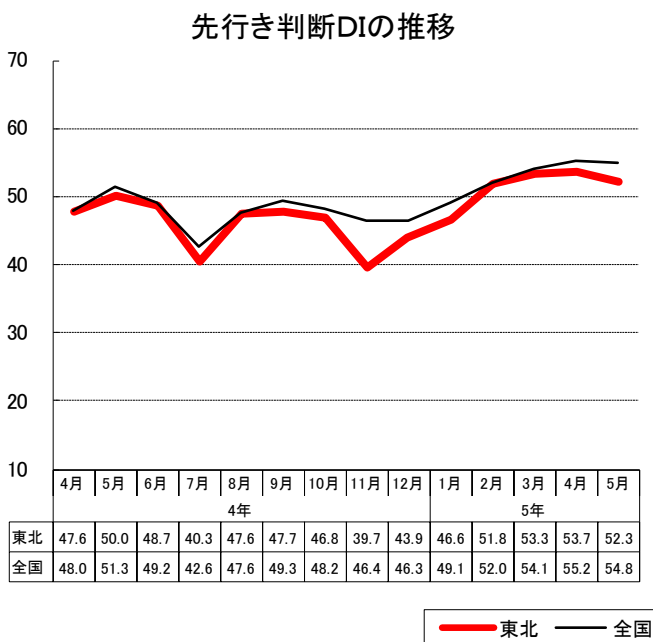
○企業動向関連…広告代理店・広告業協会、農林水産業等の業種でDIが前月を上回ったが、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.0」（▲1.4）と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「61.8」（+6.5）と、4か月連続で前月を上回った。

### (2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「52.3」と6か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイント低下した。



○家計動向関連…一般小売店、衣料品専門店、百貨店等の業種でDIが前月を上回ったが、設計事務所、コンビニ、乗用車・自動車備品販売店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.9」（▲2.0）と、6か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、通信業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回ったが、電気機械器具製造業、輸送業、食料品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「52.7」（▲1.5）と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「59.2」（+1.3）と、2か月連続で前月を上回った。

## <参 考>

### ■D I の推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）D I

	4年										5年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北現状	47.4	54.0	51.6	42.9	45.5	48.7	49.1	44.3	42.6	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	
家計動向関連	46.8	54.6	51.1	41.3	42.8	47.4	47.6	42.7	42.5	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	
企業動向関連	47.1	51.4	50.0	46.5	49.3	52.1	49.3	45.9	41.2	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	
雇用関連(参考)	51.3	55.3	57.9	46.1	55.3	50.0	57.9	51.3	46.1	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	

#### （2）先行き判断D I

	4年										5年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北先行き	47.6	50.0	48.7	40.3	47.6	47.7	46.8	39.7	43.9	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	
家計動向関連	47.0	49.1	48.3	38.3	44.3	46.3	45.7	37.9	41.8	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	
企業動向関連	47.1	47.1	47.1	45.8	56.1	52.1	48.6	43.9	48.0	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	
雇用関連(参考)	52.6	60.5	53.9	42.1	51.3	47.4	50.0	42.1	48.7	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和5年5月25日～31日

回答者数 165/189 名、回答率 87.3%（全国 1,826/2,050 名、89.1%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

- （商店街）…新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行したことで観光客が一段と増え始め、3か月前より人通りが多くなっている。
- （一般小売店[酒]）…新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行した影響で、インバウンドを含め県外からの観光客が急激に増加している。それに伴い、観光施設では団体客向けの昼食プランも再開している。飲食店でも50人以上の宴会予約を聞くようになり、客先全般で販売量が増加している。
- （乗用車販売店）…今まで販売停止中だった車が少しずつ販売できるようになっている。
- （高級レストラン）…日本人客はそれほど増加していないが、外国人客が増加している。
- （旅行代理店）…ゴールデンウィーク終了後、国内旅行は個人が鈍化しているものの、団体は微増で右肩上がりの傾向がある。海外旅行は個人で数件の申込みが発生している。また、団体も学生の語学研修や小グループの受注が増加しており、コロナ禍からの回復の兆しが地方においてもようやく出始めてきた状態である。ただし、依然として海外社員旅行は慎重さがみられ、様子うかがいの状況である。
- （通信会社）…客は物価高騰に慣れ、価格の安い所を探して満足している傾向にある。企業努力により安く販売しているところで購入しており、その結果、景況感は緩やかに良くなっている。
- （広告業協会）…コロナ禍の生活から解放され、飲食やレジャーなどへの消費が増大し、企業の販売促進活動も活発になっている。広告業界の実績は前年をクリアしているものの、新型コロナウイルス感染症発生前ほどには回復していない。
- （その他非製造業 [飲食料品卸売業]）…6月からの値上げ商品が多くあるため、5月中の受注、販売量は前年を上回っている。
- （職業安定所）…新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行したことにより、飲食店や観光関連業種の事業所が好況である。
- （民間職業紹介機関）…増産の話とともに人員補充の相談が増えている。

##### ○「変わらない」

- （一般小売店[医薬品]）…来客数は変わっていないが客単価が落ちている。主力商品の販売量の落ち込みが顕著で、単価の高い商品の動きも止まっている。
- （観光型ホテル）…新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行したことにより来客数は増えているが、物価高の影響もあり期待しているほどではない。
- （美容室）…客の再来店率は前年比 90~94%が続いている。新規客が増えない以上、売上が上がることはない。
- （その他住宅[住宅展示場運営会社]）…来場組数は多少減っているが、大きな変化はない。
- （人材派遣会社）…業界、規模にかかわらず採用意欲が旺盛になっている。ただし、小売店や飲食店などでは、予定していた人数の採用ができないことで、出店計画のスピードが落ちたり、シフト管理で負荷が掛かったりしている。

##### ○「やや悪くなっている」

- （百貨店）…ゴールデンウィーク以降、来客数は微増だが、ペントアップ需要の対象であった高額商品の売上が減少しており、全体としてもマイナスに転じている。モノ消費からコト消費への移行が要因の1つとみている。

- (スーパー) …値上げの影響は大きい。買上点数は下がっているが客単価は前年と同様である。主に総菜や生鮮食品の即食性の高い商品が売れているため、日用品については買い控えや、価格比較で安価な店舗への買い回りが一層多くなっている。余計なついで買いは自粛している。
- (コンビニ) …物価高騰の影響で来客数の増加が見込めない。販売価格の上昇で買上点数も減っている。販売価格の上昇で売上が増えても、電気料金等が大幅に値上げされたため収益は悪い状況である。
- (衣料品専門店) …ゴールデンウィーク後、物価上昇などにより客が財布のひもを締めているようで、購入点数や来店頻度が減っている。
- (家電量販店) …消費は観光旅行需要に向けられており、家電製品は買換え需要のみである。販売量は前年比 90%となっている。
- (その他専門店[ガソリンスタンド]) …新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和されたが、販売価格の高止まりと節約志向の高まりにより、販売量は前年を大きく割り込んでいる。
- (一般レストラン) …会社関係の客が余り動いていない。また、一般客もゴールデンウィークは動かなかった。通りに面した立地の店と比べると路地裏の店は客の入りが悪い。
- (遊園地) …4月上旬までの勢いが収まっている。ゴールデンウィークも最終日の天候不良もあってそれほど伸びず、前年を若干下回っている。
- (設計事務所) …建築資材の高騰や納入遅延に伴い、事業のタイミングによって明暗がくっきりと分かれている。
- (農林水産業) …農業生産資材が前年と比較して肥料では 5～6 割、それ以外では 2～3 割、値上がりしている。
- (出版・印刷・同関連産業) …物価高騰の影響か消費は低迷している。また、デジタル化が進み受注が減少している。
- (一般機械器具製造業) …物価や光熱費の高騰で客先に値上げ等を依頼していることもあり、全体的に受注量が少ない状況が続いている。
- (建設業) …今月は目立った受注契約がない。

## ○「悪くなっている」

- (住関連専門店) …受注生産をしており、3か月前と比べて受注量が減少している。
- (電気機械器具製造業) …主に半導体メモリ市場に関して、顧客の設備投資意欲は下がっており、受注量が減少する状況にある。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

- (建設業) …今年度は既に一定の受注見通しが立っている。受注を更に積み増しできる可能性が高いとみている。
- (人材派遣会社) …先々を見据えて、今後の需要拡大に対応するための採用活動をする企業が多くなっている。

### ○「やや良くなる」

- (一般小売店[酒]) …来月には地元特産品の最盛期を迎えることもあり、より多くの観光客の来県が予想されるため、景気も良くなるとみている。
- (百貨店) …4月、5月は売上が伸長しており、同業他社でも同様の傾向がみられる。また、インバウンドも順調に伸びている。この状況は続くとみている。
- (衣料品専門店) …コロナ禍が落ち着き、人と物の動きが活発になり明るい兆しがみえる。夏祭りの人出の増加が売上の増加につながると期待している。

(観光型ホテル) …個人客は変わらないが、今まで旅行を控えてきた企業などの団体客はこれから動き出すとみている。

(通信業) …8月から9月にかけて、新機種の発売を控えているため、一時的に売上が上がることを見込んでいる。

(広告業協会) …行動制限のない夏休みに向けたレジャー関連の広告出稿に期待している。広告業界の業績は持ち直し傾向にあり、しばらくは好調な状況が続くと見込んでいる。

## ○「変わらない」

(乗用車販売店) …車両生産が堅調になった分、しばらくは納車待ちの売上が見込める。反面、新たな受注は今一つである。

(その他専門店[靴]) …新型コロナウイルス感染症発生前の状態に戻ることで売上にプラスになる面もあるが、値上げによるマイナス面もあり、先行きは不透明である。

(旅行代理店) …上期は国内旅行も海外旅行も、現状の先行予約状況からは緩やかな右肩上がりが続くとみている。ただし、家計を節約しているなかで、全国旅行支援などの割引がなくなったため旅行への支出を抑える傾向があり、極端に良くなることは期待できない。

(通信会社) …今後も外出傾向が続くため、放送サービスを中心とした自宅でのサービス利用者数の大きな増加は期待できない。ただし、インターネットを中心とした通信サービスは、今後もWi-Fi環境などを整備する人が増えるため、新規加入者は多少増えていくとみている。特にネット配信による映像サービスの利用者が少しずつ増えている。

(住宅販売会社) …公共の受注は多いが戸建て住宅はそれほど伸びていない。

(食料品製造業) …既存品、新商品共に売行きは順調なので、前年並みの販売量はキープできると見込んでいる。

(新聞社[求人広告]) …物価高は広告の動きにも影響しており、回復はまだ先とみている。

(職業安定所) …人流回復により小売業、宿泊業等で求人数が増加している。この動きは変わらないとみている。

## ○「やや悪くなる」

(コンビニ) …電気料金が上がるため、6月初めから消費マインドは下がっていくのではないかと危惧している。

(電気機械器具製造業) …6月からの電気料金の値上げに伴い、修繕工事や改良工事については更に費用を削減する傾向にある。

(輸送業) …売上が前年の9月から9か月連続で前年を下回っている。国内向け、海外向け共に製造業の物量が減っており、今後の見通しも良くない。さらに、6月からの電気料金の値上げは景気に悪い影響を与えることになると予想している。

(司法書士) …地元法務局の登記申請件数が前年同月比で4%減少している。このままの水準で推移するものとみている。

## ○「悪くなる」

(設計事務所) …働き方改革に伴う4週8休や残業時間の制限等によって労務単価が上がっている。供給不足により資材価格も上がっており、コストカットできる要素がない。一方、買手の購入希望額は、物価上昇前のイメージで予算取りしているため、工事発注が減少するとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上